

令和 4 年度

「運営に関する計画」
(中間評価)

大阪市立豊新小学校

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 全市共通目標(小・学校) ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。 R3 78.1% ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 R3 0.018 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 R3 ー	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 いじめアンケートを定期的に(学期に1度)実施し、当該児童から聞き取りをていねいに行い、校内いじめ対策委員会において事案を解消していくとともに、日常的にいじめはどんな理由があってもいけないことだと指導を継続していく。	B
指標 学期に1度、いじめアンケートを実施。いじめ対策委員会で認知したいじめについて全教職員で共通理解を図り対応する。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 区役所(子育て支援室)やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図るとともに、校内ケース会議で情報共有しながら支援を継続していく。	B
指標 月に1回、生活指導部会及び児童理解研修を実施する。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ICTの活用による、本人、保護者と学校がつながる回数を増やす。	B
指標 学校に来ることが難しい児童にクロームブックを貸し出し、週に1回以上オンライン学習を実施する。	
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 学期に一度「いじめアンケート」を実施し、実態把握をするとともに認知した事案については、丁寧に聞き取りを行ってきており、事案を解消したり、またいつでも話をきいてもらえるという安心した環境を作ったりすることに努めている。今後、認知した事案に対して、その後の実態や事案解消の実践などについても校内いじめ対策委員会において話し合い教職員間での共通理解を図り、継続して指導を行っていく。	
② 月1回の生活指導部会や児童理解研修を計画的に行っている。また、区役所やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの外部機関と定期的に情報共有を行い、専門的な視点からの支援も行っている。現在月1回ほどの情報共有の場を設定しているが、児童理解のために、回数が増えていくことがさらに深い支援へとつながっていく。	

- ③ オンライン学習や放課後登校など、児童、保護者と学校がつながりを継続できる方法を実践している。オンラインを活用しての学習は各家庭により、個人差がある。コロナ禍での学習環境の変化に対応するため、一人一台端末を持ち帰ったオンライン学習の環境整備等、物理的な面での支援が必要である。

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】 学校の年度目標 ・令和 4 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 93%以上を維持する。 R3 94.4% ・令和 4 年度の小学校学力経年調査・校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を令和 3 年度より 3%増加させる。 R3 39%	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 社会や集団生活でのルールについて全教職員で日常的に指導する。 指標 「豊新学びのきまり」に基づき指導に当たる。毎週児童朝会を実施し、月目標や週目標を指導支援をする。	B
取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 キャリアパスポートに基づき、体験活動等で得た達成感や充実感を振り返り、自尊感情の育成を図る。 指標 学期に 2 回、キャリアパスポートで目標の設定と振り返りを実施する。	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 児童朝会や日々の声掛けにより、校内調査における、「学校のきまりを守っていますか」の項目においては、96%の児童が肯定的に回答しており、意識は高まってきている。しかし児童の実態においてはともなっているとはまだ言い難い面がある。児童のより安心安全な学校生活のために週目標の設定を継続していくこと共に、児童主体で目標設定や手立てを考え、取り組む活動の支援が必要である。 ② 各学年の実態に応じて、学期初めに指標の設定を行ってきている。校内調査における、「自分にはよいところがあるとおもいますか」項目において、最も肯定的に答える児童の割合は52%で指標の数値を超えている。今後たてわり班やペア学年での取り組み、友だちからのほげましや承認できる場面を活用するなど多方面から自尊感情の育成を図っていく。	

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を45%以上にする。R3 38.3% ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 <p>R3 国語 3年 101.4 4年 100.6 5年 101.0 6年 101.7 算数 3年 98.2 4年 98.9 5年 96.8 6年 97.7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。R3 87.7% 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>単元や題材に即して、ペア学習・グループ学習を取り入れ、多くの場面で考えを深め合ったり、伝え合ったりできるように工夫し、学習したことを振り返る活動を取り入れる。</p> <p>指標 1日1回、学習の中で話し合う活動を実施する。また、学習の中で振り返る活動を取り入れる。</p>	B
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を目指し、個別指導やグループ指導、反復学習、家庭学習支援などを行う。</p> <p>指標 単元ごとに習熟を図るため調査を実施し、個々の進捗状況を把握する。学習ドリルなどを、やり直しを含め丁寧に実施し、学期に1回点検する。</p>	B
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>外国語活動・英語教育の深化充実、モジュール学習の定着を図るため、教員研修を充実させる。</p> <p>指標 外国語活動・英語教育の教員研修会を年3回実施する。</p>	A
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 書く力の育成として視写活動を令和3年度から継続的に取り組んでいる。また、話し合う活動が活発に実施できるよう学力向上部が話型を提示し(2学期より)、校内で共通理解を進めている。考えを伝え合い、深める活動を積極的に取り入れているが、校内調査の「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできましたか」の項目においては、最も肯定的な答えが44%であり、指標の数値に達していないが昨年度と比較し数値は向上している。引き続き指導を継続する。</p>	

- ② 単元ごとに学習の習熟度を図るための学習ドリルや定期試験を適宜行い、個々の学力状況や進捗状況を把握している。理解が十分ではない児童に関しては、個人指導や反復学習を行い、学習意欲を高められるようにしている。
- ③ 校内調査における「外国語活動は楽しい」の項目において、肯定的に答える児童の割合は93%であった。朝の時間にモジュール学習を実施することで、外国語に対する児童の興味・関心を高めることに繋がっている。また、人権教育部を中心にC-NETと交流する「イングリッシュデイ」の開催（8月）やICTを活用した、リアルタイムで他の国とつながる学習活動も展開予定である。今後、さらにモジュール学習や外国語活動の研究を深めていく。外国語活動や英語教育の研修会は、計画通り実施できている。【イングリッシュデイ（8月）、英語教育研修会（9月）、英語実践授業（11月）】

大阪市立豊新小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標(小学校) ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を70%以上にする。 R3 60.5%	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向5 健やかな体の育成】 運動の日常化のために、児童が意欲的に体を動かそうとする活動や運動強調週間を実施する。 ----- 指標 運動委員会を中心に4回以上（1学期1回 2学期2回 3学期1回）体を動かす活動を計画し実施する。 11月（なわとび）と2月（かけあし）に「運動強調週間」を実施する。	B
取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】 保健学習や保健週間の設定において、健康で安全な生活態度や習慣を向上させる取り組みを行う。 ----- 指標 年1回以上の性教育を実施する。9月と2月に「手洗い強調週間」を行う。	B
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 栄養指導や給食指導において、食べることの楽しさやバランスのよい食生活を大切にすることを養う取り組みを行う。 ----- 指標 食に関する指導を学期に1回以上取り組む。	B
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① 運動委員会の取り組みとして、休み時間に児童が自主的に参加できるスポーツイベントを計画し、実施を進めている。1学期は鬼ごっこを行い、普段外で遊ばない児童も楽しく参加することができた。2学期は、フラフープを使った遊びとドッジボール大会を計画している。また、11月をスポーツ月間として全校で縄跳び週間に取り組み、運動に親しみを持たせていく。校内調査における「運動やスポーツをすることが好きですか」において、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合は、現時点で72%であり指標を超えている。今後も運動能力や体力を高めるような取り組みや教材の工夫を行い、運動量の確保に努めていく。	
② 9月に手洗い強調週間に取り組んだ。チェックカードに記録を記入し、手洗いの習慣が身についているかを振り返りながら手洗いをする意識を付けることができた。毎月保健だよりを発行して基本的な生活習慣について家庭へ向けても呼びかけるとともに、保健委員会を中心に児童が健康についての関心を高められるような掲示や呼びかけを行っている。また、性教育の確実な実施に向けて年間指導計画を作成し、年度末には各学年の取り組み内容についての研修会を計画している。性教育の教材を共有し、発達段階に応じた学習を進めていく。	

- ③ 全学年、栄養教諭による食に関する指導を行った。バランスのとれた食事や規則正しい食生活について楽しく学ぶことができ、食への関心を高めることができている。また、給食だよりや栄養ニュースを配付し、正しい食習慣について児童だけではなく保護者への啓発も行っている。毎日の給食時に、食文化や旬の食べ物など食にまつわる話などして、食に対して興味関心を持たせている。今後も継続していく。

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校の年度目標 ・令和4年度の校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、最も肯定的に答える児童の割合を73%以上にする。 R3 71.1%	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 実施計画に基づいて、計画的に研究授業および研修会を実施する。	B
指標 教員が一人1回以上の研究授業を行うとともに、学習指導に関する全体研修を8回以上行う。	
取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 主体的、対話的な活動を取り入れ、児童が自分の考えを持ち、交流を通じて考えを広げる場を設定する。	B
指標 言語活動の充実を図り、1日1回以上、話し合う活動を取り入れる。	
取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】 年3回学力向上 week を実施し、児童の国語力を伸ばす。	B
指標 学期に1回の学力向上 week（1学期に「音読・群読」、2学期に「漢字」、3学期に「作文」）を実施する。	
達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① 校内調査における「授業の内容は理解できる」の項目において、肯定的に答える児童を合わせると94%の児童が「理解できる」と答えているが、最も肯定的に答える児童の割合は65%と指標を下回っている。目標の指標が達成できるように教員の資質・指導力向上を目指し、研究・研修を重ねていく。今後も計画案に沿って研究授業・研修会を実施していく。10月13日現在、全体研修会は6回実施している。</p> <p>② 考えを伝え合い、深める活動を積極的に取り入れることで、校内調査の「話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりできましたか」の項目においては、80%が肯定的に答えている。今後も話型を活用しながら言語活動の充実を図り、経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目においても、前年度よりも肯定的に答える児童が増えるように、引き続き指導・支援していく。</p> <p>③ 1学期の「音読・群読」（6月）では、全校集会の中で、各学年の取り組みについて発表をし合った。今後も学力向上 week を計画通り実施し、児童の国語力（読解力・語彙力・文章力）の向上を目指す。</p>	

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標(小学校) 【ICTの活用に関する目標を設定する】 ・令和4年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について「ほぼ毎日」と答える児童の割合を85%以上にする。 <u>R3 -</u> 【教職員の働き方改革に関する目標を設定する】 ・令和4年度末にゆとりの日について、週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業以外の休業期間においては1日以上設定する。 <u>R3 夏季3日 冬季3日</u>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向番号5 DX(デジタルトランスフォーメーションの推進)】 ICT(心の天気、デジタルドリルなど)を活用した教育を推進する。 ----- 指標 日々の授業の中で学習者用端末をほぼ毎日使用する。	B
取組内容②【基本的な方向番号6 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日を週に1回設定・実施する。 ----- 指標 ゆとりの日について、週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は3日以上、夏季休業期間以外においては1日以上設定する。	C

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
① 単元によって、学習者用端末を「活用できる」、「活用できない」はあるが、適宜活用できるよう計画している。1学期の校内調査の結果「学習者用端末を活用して学習をしている」の項目では、肯定的に答えている児童の割合が94%であり、指標を達成することができている。「心の天気」は、児童の心の状態や日々の生活の理解を深めることができる。そこで、朝と帰りの時間に気持ちの指標の共通理解を図った。昨年度よりも「心の天気」を活用することができているが、まだ十分とはいえない。
② ゆとりの日や学校閉庁日の設定については、数年前から設定されている。年中行事や月中行事予定では、ゆとりの日を設定することができている。しかし、実際の勤務状況と対応ができていない。今後、業務内容の見直しなどが必要となるため、人材の育成を進めることが重要な課題である。

(様式2)

大阪市立豊新小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 学校の目標 ・令和4年度の校内調査における「読書は好きですか」の項目において、肯定的に答える児童の割合を85%以上を維持する。 R3 86% ・心豊かな子どもの育成のため、芸術鑑賞行事(演劇・音楽鑑賞・古典伝統芸能)ならびに多様な体験活動(社会見学)を実施する。 R3 芸術鑑賞(1回) 校外活動全学年1回以上実施 ・令和4年度末の「学校は保護者や地域と連携し、協力し合っている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を令和3年度より1ポイント増加させる。 R3 86%	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向番号8 生涯学習の支援】 学級文庫の充実ならびに地域の方の読み聞かせ活動の活性化を図り、児童がより読書に親しめる機会を増やす。 <hr/> 指標 週に1回、図書館を利用する。10月に読書月間を実施する。	B
取組内容②【基本的な方向番号8 生涯学習の支援】 芸術鑑賞行事ならびに多様な体験活動(社会見学)を実施し、心豊かな子どもの育成を図る。 <hr/> 指標 芸術鑑賞行事、3～6年生で社会見学を確実に1回実施する。	B
取組内容③【基本的な方向番号9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 教育方針や教育活動の様子を、「学年だより」等を通してわかりやすく伝える。 <hr/> 指標 月に1回、学年だより等を地域・保護者に配付する。週1回、学年の活動をホームページに掲載する。	B

達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ① 今年度は、5月より図書館ボランティアによる読み聞かせ活動(がらがらどん)や図書館開放を実施している。また、各学年の実態に合わせた購入図書を選定や学級文庫の充実に努めるために学級での年間貸し出し冊数(200冊)を設定した。さらに図書委員会を中心に読書週間(10月実施)する等、児童が本に親しむ機会を増やしている。結果として校内調査における「本を読むことが好き」の項目において、肯定的に答える児童の割合は指標の87%に達した。今後も引き続き、児童が興味を持てる本や資料、言葉等を紹介しながら、読むことに対して親しみを持てるように指導・支援していく。
- ② 年間行事計画に基づき、11月7日に芸術鑑賞行事を実施予定である。3年生は、6月10日梅田スカイビルへ社会見学を実施し、1月には、暮らしの今昔間への社会見学を予定している。4年生は6月29日に柴島浄水場、市立科学館9月29日に社会見学を実施した。5年生は、9月21日にダイハツ工場に、11月25日にNHK・歴史博物館に社会見学を実施予定である。6年生は、6月28日に漢字ミュージアム、10月25日にピース大阪へ見学を実施した。今後も児童が主体的に取り組む体験活動ができる工夫と手立てを支援していく。

- ③ 月に一度「学校だより」と「学年だより」を配布し、教育方針や行事予定を伝えている。また、緊急時や行事前には「はなまるメール」を活用し、保護者・地域へ速やかに伝達している。ホームページは、適宜、各学年によって学習活動の様子等を伝えている。